

くりんぴす

We wish peace & happiness
in your agricultural life

特集

第26回 通常総代会を開催

2020 No.310 8



 JAグリーン近江

私たちは人と自然とのかかわりを大切に、食を守り、地域に愛されるJAグリーン近江をめざします



もくじ

- ② 畜産ホンネトーク
- ④ 特集 第26回 通常総代会を開催
- ⑮ ぐりんぴにゅーす
- ⑯ アグリナビ
- ⑲ ザ!!法人 ぐり〜んきっず
- ⑳ アグリレディース
- ㉒ かいごふくしか きてか〜な通信
- ㉓ JAインフォメーション
- ㉔ ふれあい広場
- ㉘ 旬の味緑通信



牛の様子を見る大地さん



餌やりをする都由子さん

畜産

ホンネトーク

vol.76

父からもっと

教わりたかったです

酪農・養鶏など、JAグリーン近江で「畜産」に取り組む生産者を取り上げてホンネの話を紹介します



古溝牧場
古溝 大地さん(21歳)
近江牛・交雑種肥育農家
大中の湖支店

人とのつながりに
支えられ

祖父、甲吉(故人)の代に、旧八日市市上二俣町から大中の湖に入植し、当時は、乳牛を120頭ほど飼っていたようです。父の代になって和牛を飼い始めました。私は入植3代目になります。父は亡くなりましたが、幸い、近くで牧場を営む叔父や従兄たちが面倒を見てくれますし、JAの方々からも指導やアドバイスをいただけるので大助かりです。昨年春には、大中の湖干拓地牧場での後継者の会「近江大中肉牛研究会ウシラボ」に入れていただきました。

昨年末の共進会では優秀賞をいただくことができ、とても励みになりました。

仕事は、毎朝8時半から牛舎に来て、餌やりと堆肥出しをします。母は、掃除などの手助けをしてきています。一休みする間もなく夕方方の餌やりをし、時には、夜回りに来て調子の悪い牛に目をかけています。忙しい毎日を送る中での楽しみは、時々、高校や農業大学の同級生とカラオケに行ったり、肉を食べたりしてリフレッシュをすることです。肉を自分で食べることで美味しい枝肉を作るのに役立てたいです。

家族で地道な経営を

コロナ禍で枝肉価格が低迷していますが、お陰様で交雑種は、大型スーパードとの契約飼育で安定しています。和牛の値段も少し向上きはじめ、全農との相対取引で助かっています。

当分は、増頭や増築などを考えず昔ながらの地道な家族経営を続けるつもりです。子牛の仕入れや肉牛の出荷、出品などは全農やJAにお願ひし、私たちは飼育管理に専念し、出来る限り周りの方々のお世話にならないように心掛けたいです。

母と二人三脚で

近江八幡市大中町で母、都由子(57)と2人で、和牛32頭と交雑種42頭を肥育しています。私は、長男なので後継ぎとして、県立八日市南高校農業科と県立農業大学校で計5年畜産を専攻しました。両親が病弱であったため、高校1年生の頃から餌やりなどを手伝っていました。昨年春、菅農高等学校を卒業してすぐに就職しました。しかし、卒業して間もない4月に父、彰が入院し、止む無く母と手探りの状態で牛の世話をすることになりました。それから2か月経った6月に父は、66歳で亡くなりました。父から教えてもらう間がなかったのが本当に残念です。父は、枝肉共進会で度々入賞する牛を育てていました。私も、先輩たちから教えてもらいながら立派な牛を育て両親を安心させたいです。



餌を食べる牛たち

第26回 通常総代会を開催



6月20日、能登川コミュニティセンターで第26回通常総代会を開催しました。総代523人のうち521人(書面議決書、委任状による代理人出席含む)が出席。准組合員総代は、67人のうち3人が出席しました。議事では竜王地区の田中眞博さんと若井幸司さんが議長に選出され、上程された11議案、2附帯決議および附帯議案は、原案通り全て可決承認されました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事前に全総代に訪問を行い、議案内容を説明し、書面による議決権行使への協力を呼び掛けました。

提出議案

- 第1号議案** 令和元年度(2019年度)(第26事業年度)事業報告及び剰余金処分案の承認について
- 第2号議案** 第9次中期経営計画の設定について
- 第3号議案** 第7次地域農業戦略の設定について
- 第4号議案** 令和2年度(第27事業年度)事業計画の設定について
- 第5号議案(特別決議)** 定款及び定款附属書総代選挙規程の一部改正について
- 附帯決議** 信用事業規程の一部改正について
- 第6号議案** 農地利用集積円滑化事業規程の廃止について
- 第7号議案** 農事組合法人への加入並びに出資の引受けについて
- 第8号議案** 令和2年度(第27事業年度)経費の賦課及び徴収方法の決定について
- 第9号議案** 令和2年度(第27事業年度)理事の報酬額の決定について
- 第10号議案** 令和2年度(第27事業年度)監事の報酬額の決定について
- 第11号議案** 附帯議案
- 報告事項(3件)**

令和元年度は、JA自己改革の実践とともに第8次中期経営計画ならびに第6次地域農業戦略の最終年度として取り組みを進めて参りました。金融事業における資金運用面では、低金利による影響が続く中、農業生産においては、猛暑や豪雨といった異常気象による影響を受けるなど大変厳しい経営環境下ではありましたが、組合員・利用者の多大なるご理解ご協力、そして、全役職員がそれぞれの立場で協同組合事業の推進と対応に邁進したこと、ならびに各部門で経費の節減に取り組んだことから総合事業による相乗効果が「協同の成果」として積み上げられ、利益の確保につながることとなりました。事業総利益では、計画対比105.6%にあたる42億7千2百59万3千円、事業管理費においては、計画対比99.8%、40億2千3百95万7千円、事業外をあわせた経常利益段階では4億5千4百82万6千円を確保させていただくこととなりました。当期剰余金においては、減損会計基準に沿った固定資産の減損損失計上に取り組んだうえで、計画を上回る2億7千8百90万円を確保させていただきました。

令和元年度 事業報告 (一部抜粋)

信用事業

●農業のメインバンク化を目指し、農業資金利子補給制度をご利用いただき、アグリマイティ1資金を中心に農業関連資金全体で176億7億4千7百万円の新規借入をご利用いただき、農業資金の利用拡大に努めました。また、住宅資金についてはローンセンターを中心とした住宅販売店営業により、139件で37億7千8百万円の新規借入をいただきました。

●金融機関における信用のバロメーターとして推奨される貯金は、総貯金残高3千54億円と、県下JAトップの貯金量を維持することが出来ました。特に個人貯金は、「サマーキャンペーン」、「ウィンターキャンペーン」、「感謝キャンペーン」と年3回の定期貯金のキャンペーンを展開し、年間で80億円の個人貯金を伸ばすことができ、多くの方々にご利用いただきました。●年金振込をご利用の方々は、年2回の年金ありがとうキャンペーンを実施し、特産品として6月には「みずかみ」を使ったチップスを、12月には「喜楽長」のお酒をプレゼントいたしました。●年金相談会を92回開催し、751件の相談をいただき、728件の年金受給口座を獲得することが出来ました。●現在17、617人の方々に年金受給



支店窓口風景

共済事業

●3Q訪問活動(感謝の気持ちを伝える・保障点検活動)は、平成19年4月にスタートして今年度で13年目をむかえ、令和元年度は16,224軒のお宅に訪問し、「Face to Face」(出会)の徹底による保障点検で、「安心」と「満足」の提供を実践しました。●農業を取り巻くリスクに備え、リスクチェック項目をもとに95軒の法人・個人先に診断活動を実施しました。●また、診断結果をもとに提案活動を行い、農業者賠償責任保険・農業応援隊・農業倉庫の建物保障・農機具保障等、37件の新規契約をいただきました。●地域貢献活動の一環として、アンパンマン交通安全全キャラバンやJA共済交通安全教室(落語)を開催させていただきました。●大変多くの方々に参加をいただきました。●自動車共済利用者満足度の向上を目指して、現場急行サービスなどの利用者視点に立ったサービス強化しました。現場急行の出動件数は148件で、契約者への安心の提供に努めました。●支店担当者に対しても事故受付研修を実施し、体制の強化に努めました。



交通安全落語

給口座を指定いただいております。

購買事業

●「生産資材」 ●農家組合員の所得増大に向け、令和2年度産米生産資材の申込みについて、全国共同商品購入2品目と県独自の銘柄集約商品1品目、大型規格農薬を取り扱いコスト削減を図りました。●令和2年度産米の資材申込書で、特別推奨品目や重点品目を設定し、予約期間の厳格化により、共同購入のメリットがある価格にしました。

●予約期間以降の申込みは通常当用価格に戻るため、予約期間内での申込みについて、農談会等で周知いたしました。●組合員や利用者が「見やすい」「購入しやすい」「目を引きやすい」店舗商品の陳列に心掛けました。また、JA・POP全国コンテストでは、ジェネット3店舗が参加し、ジェネット竜王が敢闘賞を受賞しました。●令和2年度産米の栽培ガイドラインでは、近年問題となっている雑草の対策として、「リベリター」、「MCPソーダ塩」を提案しました。●野菜の殺虫剤では、効きの速さ、対象害虫の幅広さ、作物によっては収穫前日まで害虫を駆除できる新たな薬剤として「グレイシア乳剤」を提案しました。●突風・台風19号の影響で、ハウスの倒壊・破損が多発発生したため、令和元年11月30日まで施設(パイプハウス等)の被害現状復旧支援対策として、供給価格の10%を上限とする値引き支援を行いました。●年間を通して専門知識をもって出向く指導購買(生産・生活)の展開を図るため、8名の経済渉外を配置し、新規開拓、未利用品目の購入推進および現行利用いただいている農家組合員の継続利用により、JAの利用拡大に努めました。

●「生活資材」 ●「第6回JAグリーン近江利用者のつどい」を開催し、1部・2部合計で1,644名の方々にご来場いただき、組合員利用者のふれあいの場として楽しんでいただきました。●「第7回JAグリーン近江利用者のつどい」については、新型コロナウイルスの感染防止、組合員の方々の健康安全面を考慮し、中止に向けての協議を行いました。●管内で生産された農産物による6次産業化商品として、「政所平番茶・日野北山茶・キリンビール商品・竜王の梅・バックごはん等」の提案を行いました。また、農業倉庫の提案や仏壇展示会を実施しました。

●「燃料配送」 ●毎年恒例の12月の灯油の特売日を土日の2日間実施した結果、店頭での混雑も回避でき、前年対比116%の売上実績となりました。●仕入先との徹底した価格交渉によって組合員

販売・倉庫事業

●「米」 ●令和元年度産米は、国による生産数量目標の「都道府県配分」廃止から2年目となり、新たな指標である「生産目標」を考慮しつつ、農業経営の安定化を図るため、生産者やJA組織が米穀情報をもとにマーケティングにより実需者からの要望を把握し安定した生産と販売の確保に向け需要に応じた米作りに取り組みしました。●令和元年度産米の作柄については、長梅雨による日照不足、8月の酷暑、台風等の影響から収量や品質に大きく影響を与え、滋賀県の作況指数は「98」とやや不良となり、品質についても乳白粒や未熟粒の発生も多く、1等比率が例年に比べ低くなりました。生産現場においては作況指数以上には収量は少ないとの声も多く、実際の状況としては昨年より1俵から2俵程度の減収となり、米集荷においても出荷契約数量を大きく下回る状況となりました。●販売環境においては、民間在庫量の増加や消費の減少が影響し、令和元年度産米の市場価格は昨年並みで推移し、価格上昇は見込みない状況となりまして、直売上等の販売取り組みとして「事前契約、結びつき」など、令和元年度も早期に契約を行ったことから、うるち米の概算金価格については前年度より1俵200円程度高く設定させていただきました。●令和元年度産米の集荷数量は58.8、502袋(契約対比:86%)・1等比率58%の実績となりました。●集荷体制として事業本部を中心に各支店にR



ライスプランナー設置



きてか〜な周年際

P(ライスプランナー)を設け、集荷目標必達に向けた体制を整え、生産者の情報の把握、多様な集荷・販売の提案など、接点活動に取り組ましました。

J A 役員が互いに情報共有と組織連携を図る事を目的に、令和元年度米「集荷推進大会」を開催し、安定した販売数量の確保と、契約による米の安定取引「需要に応じた契約生産」による産地づくりに向け意識統一を図りました。令和元年度「みずかがみ」は、全量早期精算(当該年度末)を実施しました。

「みずかがみ」を使用した「バックごはん」は、百貨店など販売先の拡大を行い、海外輸出では台湾の百貨店での販売を継続し、全体の年間販売数量として約51,000個を販売しました。令和元年度米の集荷対策として、生産者: J A 実需者が結びついた「複数年(2か年)契約」を J A 出資法人連絡協議会会員と管内認定農業者等への経営体提案しました。

令和元年度米は、播種時は天候に恵まれ順調に出芽、苗立ちも良好で分げつ期以降も暖冬の影響もあり、平年より5日程度早い出穂となりました。しかし、4月初旬に降雪もあり生育が早く進んだ圃場では凍霜害が発生し穂先の不稔や葉先枯れが見られました。その後の登熟期、収穫期の気温は高く、日照時間も多いことから生育は順調に進み、収穫は平年より4日程度早く、収量は平年よりやや多い結果となりました。農林61号につきましては、早播莖数過多の圃場で「黒節病」の発生が見られ、「びわほなみ」では一部赤カビ病の発生も確認されたことから、2回防除の指導を徹底いたしました。



T A Cによる生育調査

件に対し6,032千円の支援を実施しました。

J A 出資法人連絡協議会で G A P 研修を開催いたしました。

「環境ごだわり米」を基本としたグリーン近江統一の「特別栽培米」へのガイドラインを策定し、5つの部会で取り組みをいただきました。

小麦は、「農林61号」から「びわほなみ」へ品種転換を目指し八幡東支店・八幡西支店管内を中心に約500haの作付けを行いました。また、全支店で試験圃場を設置し、綿密な圃場調査のもと、生育情報や研修会を実施いたしました。

「びわほなみ」では、収量向上を図り所得増大を目的に、肥料の「発型施用」を採用せず、基肥・穂肥の「タチ」施用を主軸としたガイドラインの策定しました。

品質評価に係るランク区分・等級の結果については、農林61号「A」(1等比率100%)、びわほなみ「A」(1等比率100%)、ミナミノカオリ「A」(1等比率3%)、ファイバースノウ「C」(硝子粒あり)(1等比率88%)サチホゴルデン「A」(2等比率100%)となりました。

令和2年度米については、冬期が温暖に推移したために生育は旺盛となり、3月末時点で1週間程度早くなっています。

小麦の品種転換「農林61号」から「びわほなみ」へ、全面代替に向け、全支店で試験栽培・栽培研修会を実施し求められる「安定生産・安定品質」に向けた取り組みに努めました。

令和元年度大豆は播種時の降雨・長雨により大型農家の一部圃場が8月播種となり、その後干ばつ・台風の影響等により減収となり、作柄はやや小粒傾向で平年収量より減収となりました。その影響で大豆種子も同様で種子の確保が難しい品種もありました。新品種「ことゆたかA1号」は「ことゆたか」に比べ収量、品質ともに優れ、全面転換に向け期待できる結果となりました。

集荷数量は、ことゆたか(517.11t)、ことゆたかA1号(317.64t)、タマホマレ(427.35t)、フクユタカ(271.26t)、その他(23.46t)、合計(1556.82t)、前年対比188%の集荷実績となりました。

年間を通じて温暖な気候で秋冬野菜、黒大豆の作付け作業は順調に進みました。全体的に豊作基調であり出荷量は増加しましたが、野菜関係については、需給バランスが崩れた為、価格は低迷しました。また、契約加工関係については出荷が鈍い状況が続きました。

本年から玉ねぎの共同選果場の稼働を開始し約120tの選別を実施しました。

契約加工キャベツの3月末出荷量は1,408t(前年対比99.9%)の他に持ち越し在庫48t有となりました。

丹波黒の集荷量は155t(前年対比330%)、早生黒の集荷量は215t(前年対比300%)となりました。

ぐりん探検隊「ちやぐりん大会」を開催し、総勢293名の子ども達と保護者に参加いただき、食農教育としての活動を実施しました。

フレミズ大学を開催し、9名の参加がありました。フレミズ大学をきっかけに J A 事業への参加・参画への輪が広がりました。

利用事業

令和元年度水稲育苗事業の取り扱いは、麦跡水稲を含めて298,506箱(前年度対比100.2%)のご利用をいただき、前年度を上回る実績となりました。

米穀の施設利用実績は、麦で8,526t(前年度対比110.9%)、米で11,300t(前年度対比96.6%)、白大豆で1,193t(前年度対比200.2%)のご利用をいただきました。

令和元年度水稲苗の密苗の取り組みでは、「みずかがみ」1,547枚(前年度対比592.7%)、キヌヒカリ1,266枚の利用をいただきました。

昨年同様、みずかがみと秋の詩を播種・水稲育苗の利用率増加に伴い、J A 共済地域・農業活性化積立金を活用し、桐原ハウス(近江八幡市東町地先)に1棟の新設ならびに老朽化したビニルハウスを1棟更新しました。

カントリー本格稼動

「葬祭」

「葬祭」

「葬祭」

「葬祭」

「葬祭」

「葬祭」

「葬祭」



近畿東海北陸連合肉牛共進会

地域・支店を核としたミニ産地づくりの展開を図り、取組面積や生産者数の拡大に努めました。

黒枝豆・人参・金太郎まわくわ・ミニ白菜・生姜・タラノ豆・春菊等

パイハウス類設置支援事業で7件299万円、園芸用農業機械導入支援事業で8件175万円の支援を実施しました。

インショップを含めた直売所事業は177,000千円(前年対比91.5%)となりました。

令和元年度は、販売高目標683,640千円に対して771,514千円(112.9%)と計画を上回る実績を上げることができました。

秋冬野菜は市場価格の下落により近隣量販店等へ客足が向いたとみられましたが、来客者数は前年対比101.8%の39万9千人と前年度を上回り売り上げも好調となりました。

出荷登録者の委託販売率は74.2%(前年度は74.8%)、客単価は2,104円となりました。

1出荷者あたりの集荷量の増加や業務用にお買い求めいただける方が定着したと考えられます。

多様な販売先として J A タウンや Amazon、また管内3市町のふるさと納税の返礼品として地元産物や畜産物の販売を行いました。

各種情報発信にメルマガを活用するとともに、フェイスブック、ブログ、インスタグラム、ツイッターといった SNS を活用し迅速な情報発信を行いました。

関係機関と連携した定期巡回を行い、飼養管理の生産指導、優良事例等の情報提供により品質向上を図りました。

その成果として、和牛では各枝肉共進会での入賞実績をあげ、交雑種では枝肉重量の増加により収益性向上にもつなげられました。

畜産事業

関係機関と連携した定期巡回を行い、飼養管理の生産指導、優良事例等の情報提供により品質向上を図りました。

その成果として、和牛では各枝肉共進会での入賞実績をあげ、交雑種では枝肉重量の増加により収益性向上にもつなげられました。

畜産物の販売動向において、酪農は乳価が安定していましたが、乳牛頭数の減少や暑熱ストレスにより出荷量が減少しました。

一方、肉牛においては自然災害の影響や消費税の増税等の影響から消費が伸び悩み枝肉価格は低調に推移し、また出荷頭数のずれ込みにより取扱高は減少しました。特に、春先に発生した新型コロナウイルス

による影響を懸念し、支店ふれあい感謝祭等のイベント開催や、利用者へのサービスと事業 P R に努めました。

令和元年度施行件数422件(内、日野ホール73件、近江八幡ホール251件、能登川ホール71件、自宅宅27件)

加工事業

加工事業

指導事業

T A C 活動においては、訪問による担い手の個別案件対応、経営所得安定対策等の申請支援、水田を活用した野菜等の生産提案、集落営農の法人化支援、担い手や法人組織の経営の多角化、高度化提案など多くの取り組みを実施しました。

担い手経営革新支援事業(T A C チャレンジ事業)においては、水田を活用した野菜等の生産振興や青年農業者の活動支援、高品質米生産支援「びわほなみ」の多取に向けた支援等28案を行いました。

高齢化が進む社会の介護予防啓発として、支店来店感謝デーで健康体操教室を行いました。

地域への貢献・関わりを目的に「ひまわりプロジェクト」を実施しました。

管理部門

管理部門

管理部門

管理部門

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
1.信用事業資産	305,814,875	1.信用事業負債	306,829,252
(1)現金	923,214	(1)貯金	305,475,119
(2)預金	223,551,064	(2)借入金	15,360
(3)有価証券	34,564,967	(3)その他の信用事業負債	1,338,772
(4)貸出金	46,718,510	2.共済事業負債	898,058
(5)その他の信用事業資産	247,775	(1)共済資金	451,958
(6)貸倒引当金	▲190,656	(2)未経過共済付加収入	435,882
2.共済事業資産	10,089	(3)その他の共済事業負債	10,217
(1)その他の共済事業資産	10,089	3.経済事業負債	1,760,706
3.経済事業資産	4,354,266	(1)経済事業未払金	247,083
(1)経済事業未収金	1,432,567	(2)経済受託債務	1,457,282
(2)経済受託債権	2,204,921	(3)その他の経済事業負債	54,720
(3)棚卸資産	651,135	(4)ポイント引当金	1,619
(4)その他の経済事業資産	127,426	4.雑負債	593,181
(5)貸倒引当金	▲61,784	(1)未払法人税等	35,104
4.雑資産	602,071	(2)その他の負債	558,076
(1)雑資産	628,437	5.諸引当金	2,555,697
(2)貸倒引当金	▲26,365	(1)賞与引当金	120,195
5.固定資産	7,158,930	(2)退職給付引当金	1,890,799
(1)有形固定資産	7,142,037	(3)役員退職慰労引当金	40,358
(2)無形固定資産	16,892	(4)特例業務負担引当金	504,344
6.外部出資	9,186,769	負債の部合計	312,636,895
(1)外部出資	9,190,753	1.組合員資本	15,221,631
(2)外部出資等損失引当金	▲3,984	(1)出資金	4,487,206
7.前払年金費用	395,785	(2)資本準備金	387,638
8.繰延税金資産	501,321	(3)利益剰余金	10,374,795
		(うち当期剰余金)	(278,900)
		(4)処分未済持分	▲28,008
		2.評価・換算差額等	165,581
		(1)その他有価証券評価差額金	165,581
		純資産の部合計	15,387,213
資産の部合計	328,024,109	負債及び純資産の部合計	328,024,109

令和元年度(第26事業年度) 剰余金処分案

(単位:円)

科目	金額
1. 当期末処分剰余金	758,955,114
計	758,955,114
2. 剰余金処分額	343,863,549
(1)利益準備金	100,000,000
(2)任意積立金	200,000,000
施設修繕等積立金	100,000,000
総合リスク積立金	100,000,000
(3)出資配当金	43,863,549
3. 次期繰越剰余金	415,091,565

(注記)
 1. 利益準備金は定款第 69 条に基づき、毎事業年度の剰余金の 1/5 以上の金額を積み立てます。
 2. 出資に対する配当金は、年 1% の割合です。
 3. 次期繰越剰余金には、営農・生活・文化改善の事業費用に充てるための繰越額 30,000,000 円が含まれています。

損益計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位:千円)

科目	金額
1. 事業総利益	4,272,593
(1) 信用事業収益	2,271,517
(2) 信用事業費用	803,262
信用事業総利益	1,468,254
(3) 共済事業収益	1,283,126
(4) 共済事業費用	79,033
共済事業総利益	1,204,092
(5) 購買事業収益	3,302,320
(6) 購買事業費用	2,769,786
購買事業総利益	532,533
(7) 販売事業収益	683,541
(8) 販売事業費用	303,982
販売事業総利益	379,558
(9) 畜産事業収益	2,373,640
(10) 畜産事業費用	2,177,436
畜産事業総利益	196,203
(11) 保管事業収益	87,245
(12) 保管事業費用	41,813
保管事業総利益	45,431
(13) 利用事業収益	1,201,518
(14) 利用事業費用	745,641
利用事業総利益	455,877
(15) 加工事業収益	37,795
(16) 加工事業費用	38,035
加工事業総損失	▲239
(17) その他事業収益	98,753
(18) その他事業費用	48,770
その他事業総利益	49,983
(19) 指導事業収入	90,821
(20) 指導事業支出	149,927
指導事業収支差額	▲59,105
2. 事業管理費	4,023,957
事業利益	248,636
3. 事業外収益	209,526
4. 事業外費用	3,336
経常利益	454,826
5. 特別利益	21,251
6. 特別損失	144,018
税引前当期利益	332,058
法人税等合計	53,157
当期剰余金	278,900
当期首繰越剰余金	442,021
税効果調整積立金取崩額	38,033
当期末処分剰余金	758,955

※単位未満切り捨ての為、合計が一致しない場合がございます。

当該事業年度における重要事項(抜粋)

①自己改革の実践と農協改革への対応

- 第9次中期経営計画(案)、第7次地域農業戦略(案)の策定において政府の農協改革集中推進期間終了後も不断のJA自己改革に取り組むことを計画しました。
- JA自己改革にかかる組合員調査に取り組み、総代懇談会や広報誌にて結果の公表と全国JAグループへの報告を行いました。
- 農家組合員の所得増大プロジェクトで実証した技術・技法の普及に取り組みました。
- 水田を活用した園芸品目の生産振興や、契約を重視した産米の生産流通販売、生産資材のコスト抑制に引き続き取り組み農家組合員の所得増大、農業生産の拡大を図りました。
- 麦大豆をはじめとする戦略作物の本作化に取り組むとともに、再生協議会・活性化協議会と連携した「生産目標」の通知等に取り組み、需要に応じた産米生産を進めました。

②各事業の取扱量拡大に向けた取り組み

- TACや営農経済担当者と信用事業担当者が連携して農業資金の活用推進に取り組みました。
- 農業リスクに備えた、リスク診断活動に取り組みました。
- 行政を主軸とした事業本部体制に機構改革し、支店間連携による事業推進に取り組みました。

③健全経営の継続

- CE・RC等の農業施設や加工施設の減損計上に取り組みました。
- 公認会計士監査対応を進め、適正な経理処理に取り組みました。
- 竜王CEの売却による固定資産の圧縮に努めました。

④組合員との関わりの強化

- 女性部、青年部、生産部会、JA出資法人連絡協議会等の組合員組織を通じた組合員との関わりの強化を進めるとともに各地域で開催されるイベントの主催・参画・出店に取り組みました。
- 教育文化活動に基づく支店行動計画の実践や来店感謝デー、JA祭り等の支店ふれあい活動に取り組みました。

⑤組合員・利用者の期待に応える職員の育成

- 新人事制度のキャリアパスモデルに基づく運用を開始しました。
- 新人事制度にかかる階層別研修会を実施しました。

⑥コンプライアンスの遵守と職場風土の改善に向けた取り組み

- 役員集会2019を開催し、トップ方針の浸透と次期中期計画の概要説明による研鑽に取り組みました。
- 部署別コンプライアンス研修の実施やGreenWay活動に取り組みました。

⑦不祥事案件の発生

- メモリアル課において、お布施の横領が発生しました。
- 支店営農経済において、生産者部会口座からの横領が発生しました。令和元年度に2度の不祥事が発生しましたことに対しまして、組合員ならびに地域利用者の皆様に大変なご心配とご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げます。

⑧業務の適正を確保するための体制

- 内部統制システム基本方針を定め、その方針に基づいた適正運用に向けた取り組みを新たに開始しました。

組合が対処すべき重要な課題(抜粋)

①農家組合員の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化を目的とした継続的な自己改革の実践

- JA自己改革の着実な実践に取り組めます。
- 需要に応じた米生産の定着に向けた契約を重視した体制整備を進めます。
- 水田のフル活用と高収益作物の生産拡大に取り組めます。
- 農と食のかかわりを深め地域の活性化につなげる取り組みの展開を行います。
- 多様な農業者の期待に応える生産・販売対策の強化を図ります。
- 各農産品目の有利販売による取扱高の維持拡大に取り組めます。
- 組合員から求められるJA総合事業の展開による地域の活性化に取り組めます。
- 購買品の仕入れ改善に取り組むとともに必要物資の安定供給体制の確立を行います。

②環境変化に適応した事業と業務の抜本的な改革

- 環境変化を的確にとらえた事業の見直しや業務の改善、組織改革の実践に取り組めます。
- 環境変化や市場規模、ニーズの多様化を踏まえた事業計画の策定と事業展開を図ります。
- 将来の収支シミュレーションの継続による対策の検討と事業運営への反映を行います。

③持続可能な経営への転換

- 不断のJA自己改革に取り組みつつ中長期で計画的な経営のスリム化や自己資本比率の確保といった「たくましい経営基盤づくり」の実現を目指します。
- 次期店舗再編計画の策定と着実な実践を進めます。
- JAと組合員の役割分担に基づく営農経済部門の収支改善と生産振興・販売対策の強化を図ります。
- 農業関連施設の再編整備を行います。

④組合員との関係性の構築

- 農と食を結ぶ協同活動の展開と地域や支店を機軸とした協同組合運動による組合員との関わりの深化を進めます。
- 支店ふれあい活動を通じた組合員との関わりの深化を図ります。
- 地域の状況に応じた担い手グループ(協議会等)の設立推進に取り組めます。

⑤協同組合人としての職員育成

- 幅広い総合事業性と高い専門性をあわせ持つ「JAらしい職員」の育成による質の高い事業対応の実施に取り組めます。
- 総合事業の相乗効果が最大限発揮できるよう部門を超えた連携とJAグループの総合力による事業展開を図ります。
- 次世代を担うJA職員の確保育成に取り組めます。

⑥GreenWayに基づいたコンプライアンスの取り組み

- トップ方針の浸透と職場風土の改善に取り組めます。
- JA綱領・経営理念、GreenWayに基づいた人材育成を図ります。
- 有効性のあるコンプライアンス研修の適時開催を図ります。
- 不祥事再発防止策の徹底により役職員が一丸となり不祥事案の撲滅に取り組めます。

⑦業務の適正を確保するための体制整備と運用

- 当JAでは、法令順守の徹底や、より健全性の高い経営を確保し、組合員・利用者の皆様に安心して組合をご利用いただくために、内部統制基本方針を策定し、組合の適切な内部統制の構築・運用に努めていきます。

第7次地域農業戦略

地域農業戦略VII

基本方針

『組合員とつながり、農業・地域の振興をめざします』

組合員とのつながりを深め協同の成果が実感できる取り組みを行います

目指す姿.1

担い手の確保・育成と経営の安定化を図り、将来にわたり安心して生産出来る環境整備と地域農業の活性化を目指します。

目指す姿.2

安全・安心な農産物の安定生産体制の確立と地域農業のブランド化、競争力のある営農経済事業の展開を目指します。

目指す姿.3

地域社会や地域住民に対する地域農業の理解増進を図り、地域に必要とされるJA活動の実現を目指します。

組合員がJAの価値を実感できる取り組みを行います

次期3か年は、組合員がJAの価値を実感できる取り組みとして、9つの重点戦略をすすめます。

基本目標 ■ 農家組合員の所得増大 ■ 農業生産の拡大 ■ 地域の活性化

重点戦略

1 事業間連携の強化

担い手渉外TAC・営農経済担当者・RP・信用渉外・共済渉外が一体となった事業間連携により専門性を発揮の下、所得増大の提案を行います。

2 多様な生産の提案

水稲・麦・大豆の基幹作物と併せ、特産園芸特産品目の生産で多角化を更に推しすすめ、水田農業の高度化を目指します。

3 組合員組織の充実

法人連絡協議会や担い手の組織化、各種生産部会、青年部等を活性化させるとともに、グリーンサポート楽農と連携を図り、地域農業を受け持つ作業受託協議会づくりをすすめます。

4 反収向上と生産コスト削減

営農指導の充実と各種診断活動を通じて、安定した生産と効率的な経営に貢献いたします。

5 競争力のある事業展開

契約栽培、特別栽培米の展開を充実させます。また、担い手等の大口利用者へのメリット創造を行います。

6 地域農業の連携

耕畜連携や担い手相互の連携、JAと関係機関の連携、集落間の連携等様々な「協同」を推進します。

7 地域農業のブランド化

実需者の求めに応じた生産を推進し、積極的なブランド化を図ります。
(近江米、近江野菜、近江牛、近江茶、近江の酒 など)

8 農地の面的集積

水田のフル活用と担い手の経営安定のために、農地の効率的な面的集積を推進します。

9 農を通じた地域貢献

「きてかーな」や地域内流通を通じて地域の農産物を地域の消費者へ。農と食を結ぶ役割として機能を発揮します。

～組合員とともに未来を拓く～

第9次中期経営計画について



JAグリーン近江 トップ方針

組合員に寄り添い、つながりあって、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現

(組合員・利用者目線での事業展開)

- ・農家組合員の所得増大と農業生産の拡大
- ・急速に変化する農業生産構造に適応した農業支援
- ・総合事業を通じ多様化する組合員ニーズに応える事業モデルへの転換
- ・自己改革の実践を支える経営基盤強化とコンプライアンス意識の醸成
- ・協同組合を支える人づくり

金融

- ・持続可能な収益構造の構築
- ・店舗機能の再構築
- ・利用者ニーズに応えられる体制と専門性の強化
- ・組合員・利用者・地域との関係性強化

営農経済

- ・担い手との関係強化
- ・生産組織の活性化(力強い農業の実現)
- ・農業関連施設の再編と整備
- ・生産トータルコストの低減
- ・JAくらしの活動を通じた機能発揮
- ・地域の実態をふまえた農業支援
- ・収支均衡を基本とした事業構築

管理

- ・継続的な経営基盤の確立・強化
- ・組織基盤の強化と人材育成
- ・リスクマネジメント対策の強化
- ・地域に根ざした協同組合づくり
- ・働き方改革への対応と職場風土の醸成

営農経済の取り組みは地域農業戦略で実践!

メインテーマ

基本目標

重点事項

具体的な取り組み

Point I 総合事業で地域農業と地域社会へ貢献します!



総合事業の展開によって持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現に取り組みます。農業分野では、地域農業戦略の実践によってJA自己改革の「農家組合員の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に引き続き取り組みます。

Point II 専門性をもった担当者によるJAらしい事業対応を実施します!



幅広い総合事業性と高い専門性をもった担当者が組合員に寄り添いつながりあってJAらしい事業対応が出来るよう職員の育成に取り組みます。

Point III 中長期的な視点に立った

たくましい経営基盤づくりに取り組みます!

組合員の皆様のご理解を得ながら取り組む事項



事業・業務・組織の見直しを順次実施し中長期で計画的な経営のスリム化に取り組むことや、農業関連事業の収支改善、支店機能の集約、次期店舗戦略など組合員のご理解を得ながら取り組みます。

農事組合法人と自治会が消毒液を全戸配布

近江八幡市安土地区の農事組合法人内野営農組合は、新型コロナウイルス感染防止対策の一環として、集落の全世帯123戸に消毒液を配布しようと内野自治会と取り組みました。同組合が日頃から取り引きのある地元業者に消毒液を確保してもらおう掛け合う一方で、自治会では評議委員会を開き、消毒液10ℓと500mlのスプレー容器の購入を決定しました。

液は、10倍に希釈するもので、テーブルやドアノブの他、手や衣服にも使用できるもので、各世帯には、説明ラベルを貼ったスプレー容器に希釈した液を入れて配布。広範囲の消毒をする場合は、同組合が所有する1ℓサイズの噴霧器を希望者に貸し出しました。同組合でも20ℓ分を備え、自治会分と合わせて約600世帯分(1世帯約5本)をカバーする体制を整えました。

同法人と同自治会では、今後も協力しながら地域全体に新型コロナウイルス感染拡大防止の意識を広めていきたいとしています。



配布した消毒液と貸し出した噴霧器

児童に代わり先生が田植え

5月上旬に東近江市立八日市西小学校、山上小学校、近江八幡市立岡山小学校では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で田植えが中止になったため、休校中の児童にかわって5年生の担当教諭らが田植えを行いました。

教諭や関係者らは、コロナウイルスが終息し秋には元気に収穫できることを願って、学校近くにある圃場で苗を手植えました。山上小学校では今年も田んぼアートで「山小・JA」の文字が浮かび上がるように苗を植えました。今後は、植えた稲の生長を児童が観察し、秋に学習発表会を行う予定です。



八日市西小学校



山上小学校



岡山小学校

竜王幼稚園児が粃まき体験

竜王町立竜王幼稚園は、5月22日と25日、同園の園庭で5歳児クラスを対象に水稻の粃まき体験を行い、34人の園児が参加しました。地元農家の廣瀬松男さん協力のもと毎年行っているもので、今年は、新型コロナウイルス感染防止の観点から2グループに分けて行いました。

園児たちは、園庭の一角に設けられた作業スペースで廣瀬さんに教わりながら育苗箱に粃をまき最後に覆土をして水を撒きました。廣瀬さんは「おいしくなあれと心を込めながら作業して下さい」とアドバイスを送り園児たちを見守っていました。橋本正明園長は「体験を通して園児たちが故郷に愛着を持ってくれることを願っている」と思いを述べました。同園では、9月に稲刈りを、12月にはお米パーティーを開く予定です。



粃をまく園児

「不祥事に関する」とい

不祥事(管理する通帳からの資金流出)についてお詫び告知では、「当JAの許可を得ず預かり管理することを通じて」とありますが、許可を得て担当者が通帳を預かった場合、どのような不祥事対策が講じられているのですか。JAは金融機関でもあり、金銭がらみの不祥事は信用失墜の極みです。JAの許可を得て預かり管理をした組織口座については組織会計事務取扱要領に基づき、組織の代表者の方と事務委託契約を締結し事務手順を明確にしたなかで厳格な口座管理をさせていただきます。また、JAは受託業務について年一回以上の内部監査を実施することにより牽制機能を発揮いたします。

① 面積把握の方法について、個人情報への対応も踏まえつつ不公平が生じないよう協議いただきました。② 認定農業者割と農事組合法人割は、現行の徴収方法を基本とし、③ 面積割については、1. 営農指導事業の内容は一般正組合員も含め広く正組合員に関連するものがあることから、正組合員全体から面積割りも含めて改めて徴収することで公平性が保てるのではないかと意見がある一方、2. 逆に指導支出の内容から認定農業者・農事組合法人に関わるものもあり、また、現状の認定農業者・農事組合法人の農地面積率は約6割強であり、今後さらに増えると考えられることから、現行通り認定農業者・農事組合法人を対象としてどうかとの意見も存在しました。3. 上述、1.と2.のようにならざる意見がありました。4. 地域農業全体の活性化や農家組合員の所得増大等に向けた様々な取り組み等を考えたときに不公平感がないように、「受益者負担」の考えも含め一般正組合員から耕作面積割を賦課する方向で検討をいただきました。

積規模の大小に関わらず一律単価となることはかえって不公平感が出るのではないかとこのことで面積割りも含めて賦課するとの検討をいただきました。③ 面積割については、1. 営農指導事業の内容は一般正組合員も含め広く正組合員に関連するものがあることから、正組合員全体から面積割りも含めて改めて徴収することで公平性が保てるのではないかと意見がある一方、2. 逆に指導支出の内容から認定農業者・農事組合法人に関わるものもあり、また、現状の認定農業者・農事組合法人の農地面積率は約6割強であり、今後さらに増えると考えられることから、現行通り認定農業者・農事組合法人を対象としてどうかとの意見も存在しました。3. 上述、1.と2.のようにならざる意見がありました。4. 地域農業全体の活性化や農家組合員の所得増大等に向けた様々な取り組み等を考えたときに不公平感がないように、「受益者負担」の考えも含め一般正組合員から耕作面積割を賦課する方向で検討をいただきました。

第26回通常総代会 質疑応答 (一部抜粋)



不祥事再発防止についての説明があったが、「再発防止に努めます」と書いているだけで結論が一つも出ていません。組合員に対しての回答をするべきではないですか。

今回の不祥事再発防止についての説明があったが、「再発防止に努めます」と書いているだけで結論が一つも出ていません。組合員に対しての回答をするべきではないですか。

今回の不祥事再発防止についての説明があったが、「再発防止に努めます」と書いているだけで結論が一つも出ていません。組合員に対しての回答をするべきではないですか。

今回の不祥事再発防止についての説明があったが、「再発防止に努めます」と書いているだけで結論が一つも出ていません。組合員に対しての回答をするべきではないですか。

今回の不祥事再発防止についての説明があったが、「再発防止に努めます」と書いているだけで結論が一つも出ていません。組合員に対しての回答をするべきではないですか。

識しております。ただ、道義的責任としての処分はしておりませんので、ご理解いただきたいと思っております。再発防止に気を引き締め取り組んでまいります。

食料農業農村基本計画を作る中の議論で、自民党の議員の方が、KPI(重要業績評価指数)のような数字の目標を持つべきだと言われているように、第7次地域農業戦略の重点戦略の9項目についても具体的な数字目標を設定し、各事業本部、各支店で進捗チェックをしていくべきです。

3月に決定された新たな食料・農業・農村基本計画の5つのポイントに基づき、グリーン近江について、数値目標をもつて進捗管理に取り組み、管内の多様な農業者の協同により地域農業の活性化を図りたいと考えています。

グリーン近江管内はそれぞれ特徴のある地域があります。全ての地域を画一的にするのではなく、それぞれの地域の特徴を活かす取り組みが必要だと思います。

それぞれの地域に特徴がありますので、それらを活かした生産や販売を展開していければと考えております。米は既に地域別の部会が存在しますが、特産品については支店を単位にミニ産地づくりを進めています。それらも品目によっては、さらに大きな産地づくりに取り組みたいと考えています。ただし、地域の特徴を活かしたやり方とグリーン近江全体で行った場合のメリットを見極めながら取り組んでいきたいと考えています。

第9号議案(賦課金及び徴収方法)については賛成なのですが、耕作面積とは何ですか。地域によっては水張面積がまちまちで、a以下をカットして面積を申請されているところがあれば、地域別の役員が面積を計算しておられる地域もあり、山間地と平地では実際の水張面積が半分程度になる地域もあります。基準があつてないよう個人任せになっているので耕作面積とは何かをお聞かせいただきたい。また、畑地にはかららないのか。JAでは畑地への指導のために設備、機械投資をされていると思います。水田の3倍以上の収益のあるお茶などの畑地や乳牛飼育されている面積になぜかららないのかお聞かせ願います。

また、面積の把握についてはどのようにされるのですか。農業共済台帳から把握できると思いが、どう対応する考えか。また、認定農業者の把握をどうするか。関係機関に情報を出すことを承認されない方もたくさんおられるのでその対応をどう行うか。面積確認ができなと思います。本来であれば、JA職員が面積確認等耕作者に承認を取るべきだと思います。

耕作面積の基準は農業共済(再生協議会)の細目書の面積(経営面積)にあがっている面積を対象に徴収させていただきます。畜産農家の方については畜産事業以外で経営面積をお持ちいただいている部分を対象とさせていただきます。畑作に関しては、経営面積にのっていないものは、対象とさせていただきます。ただし、指導を全くしないということではなく、支援や情報提供をさせていただきますと考えています。認定農業者の把握については、行政からの情報提供をお願いしたいと思っております。情報提供への承諾が頂けない場合は、直接お尋ねする方法を進めます。また、個人の面積についても同意を頂けない場合は、こちらから出向いて確認させていただきますと考えております。

八日市中央支店構想について6月3日付けの文章で当初の計画は平成30年までに建設予定であったが中止にするという出ているが、経過報告を総代にはするべきではないのか。一旦は大きな看板をあげて計画していたのだから、なぜそうなのかわかるのか、しっかりと文書で出していきたい。

八日市の支店の再編につきましては、現在、取り組みを進めさせていただいているところでございます。店舗の再編につきましては、検討委員会という形で立ち上げをさせていただいて、グリーン近江の全体の店舗のあり方につきまして検討をさせていただきます。来年の通常総代会には、一定の報告はできると現在進めさせていただいております。特に八日市地区の方につきましては、八日市支店の構想があつたにもかかわらず、現在、先般報告させていただいた通り白紙に戻ったということがございますので、しっかりと11月の総代懇談会が開催できるのであれば、そこで概要の説明をさせていただきたいと思っております。総代の皆様は逐一ご連絡させていただきますことに対してはお詫びを申し上げます。

「みずかがみ」・「ロシヒカリ」 連続特A格付けをめざす(その2)

水稻

収量と食味・品質は 出穂後の水管理でままる!!

今年の夏の天候は3ヶ月予報によると、8月は晴れの日が多く、気温はやや高い、雨は平年並みか少ないと予想されているようです。

水稻の生育は、出穂期・成熟期ともに平年並みと見られますが、田植日など栽培条件によって異なるようです。今後の管理の要点は、出穂期以降の水管理、病害虫の被害防止がキメテです。

水管理

近年、高温の影響等で、胴割れ米や白未熟粒の発生が目立っていますが、これらを防ぐためには水分補給と地温の上昇防止が重要です。

特に、砂質土壌や下層が礫層で水もちの悪い地帯では、出穂期以降に水不足になると葉色がうすくなり、下葉が枯上ったり、背白・基部未熟粒多発の原因となります。また、この時期に高温や水不足が続くと胴割れ粒の発生も多くなります。特に、出穂期前後3週間は、根に酸素を与えながら十分な水分が補給できるよう、浅水湛水や間断灌漑を続けてください。有害物質のカドミウムの吸収を抑制し、安全安心なお米を生産するために大変重要です。食の安全面からも出穂期前後にはくれぐれも水不足のないように注意してください。

湛水期間終了後も収穫作業に支障がない限り、できるだけ遅くまで管理溝に水を通すなどして水分を補給し、良い米づくりに努めましょう。なお、水は限りある貴重な資源です。地域の水利施設の計画に当たって無駄のないように大切に使い、用水の供給に支障をきたさないように注意しましょう。

出穂期前後の高温対策

高温の日が続くと、背白粒・基部未熟粒、胴割れ粒が発生しやすくなります。浅水湛水や間断灌漑によって、水分を十分に補給するとともに、生育後半に肥効(窒素)不足にならないよう、穂肥を緩効性肥料(30日タイプなど)や分施で行うと品質が向上します。

ほとんどの品種では、すでに穂肥は施用済みと思われるのですが、高温の日が続くと登熟期に肥効不足になりやすいため、葉色がうすい場合には、穂ばらみ期〜出穂期にかけての葉色が「ロシヒカリ」では、葉色板4.5〜5くらい、「キヌヒカリ」・日本晴・秋の詩」などの品種では葉色板5〜5.5を目標に穂肥を追加してください。

なお、湖辺平坦地帯の作土層の下にグライ層といわれる肥沃な土壌があるところでは、出穂後に土壌を乾燥させると地力窒素が大量に発現し、窒素過剰によって米の食味が悪くなります。田面を白く乾燥させないよう水管理を徹底してください。

出穂後に高温が続いたり、水不足になったり、穂肥の肥効が十分でなかったりすると、これより早く成熟するので、刈り遅れないように注意してください。

刈り取り適期の目安は、平均的な穂の籾が85%〜90%程度黄化したときです。米粒は、爪で押しつぶしても壊れない程度に硬くなり、穂軸や枝梗の色でなく、籾をよく見て判断しましょう。

成熟期より早く収穫すると、米粒の光沢は良くなりますが、粒張り不良や青米が増加して、品質が低下します。収穫が遅れると、胴割れ粒、穂発芽粒、茶米などが増加して外観品質が著しく悪くなります。また、登熟温度が高いと胴割れ米が増加しやすくなるので、刈り遅れないよう注意しましょう。

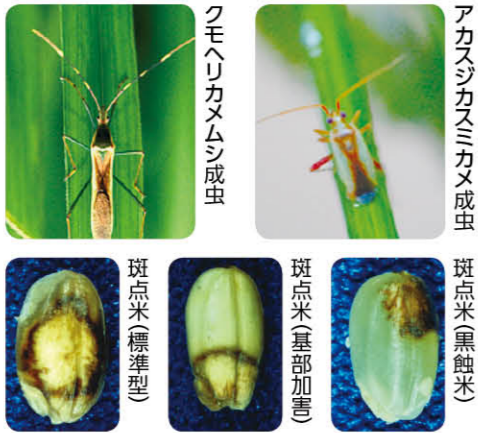
乾燥後の生籾は直ちに通風乾燥するか、乾燥施設に搬入しましょう。

みずかがみの収穫・乾燥調整

「みずかがみ」は8月末が収穫適期です。稲を健全に保ち完熟したおいしい米に仕上げるために、収穫直前まで田面の水分を十分保つようしてください。

収穫の適期は、穂をよく見て85〜90%の籾が黄色に熟したときです。葉や茎の色に惑わされて刈り遅れないよう注意しましょう。

気温が高く籾の水分が多いと変質しやすいので収穫後の生籾は直ちに乾燥施設に搬入するか通風乾燥を行ってください。乾燥仕上げ籾の水分は14.5%です。



カメムシと被害粒写真

アカスジカスミカメ成虫

斑点米(黒蝕米)

クモヘリカメムシ成虫

斑点米(基部加害)

カメムシ

斑点米(標準型)

カメムシ

斑点米(基部加害)

本欄の図写真は全国農業改良支援協会ホームページより引用

適期収穫

稲は出穂後の日平均積算温度が約1000℃で完熟します(ロシヒカリやキヌヒカリでは出穂後約30〜35日)です。

《異常高温対策》 中生・晩生品種

葉色が薄い圃場の場合(出穂期頃の葉色5以下の場合)、生育維持(外観品質低下抑制)のため追加施肥をおすすめします。

- 施肥時期:穂揃い期まで
■窒素施用量:2kg/10a程度
■肥料(参考)

Table with fertilizer application rates for different rice types: 特栽米, 一般米, 有機アブレット, 化成肥料.

*追加施肥を行う場合には、水不足がないよう注意してください。

*その他の肥料など、詳しくはJA各支店へご相談ください。

*出穂期以降に曇雨天が続く場合は、穂肥が多すぎると穂もちや未熟粒の増加など品質が著しく劣化し、食味低下にもつながるので、注意が必要です。

斑点米カメムシ類(発生やや多い)

斑点米「カメムシ類」は、畦畔などのイネ科雑草で増殖します。出穂期前後に畦畔の雑草等を刈り取ると斑点米「カメムシ類」の被害防止に有効です。カメムシはイネ科雑草に集まりやすいため、出穂3週間前頃と出穂期頃の2回以上草刈を行うようにしてください。

異品種混入防止

近年、裸地生えの発生が目立ちます。異品種混入の原因となるので「裸地生えの抜き取り」と「深耕」を励行しましょう。

- 出穂期までに抜き取りを実施してください。
●穂が傾き始めると非常に判りにくいため、穂ばらみ期から出穂期までに必ず確認してください。
●秋鋤きを早めに行い、立毛中や収穫作業でこぼれた種籾を地中深く鋤き込みましょう。
●抜き取りが不十分な場合には別扱いとなる場合があるのでJA各支店までご連絡をお願いします。

台風対策

穂ばらみ期〜出穂期にかけて強風の被害を受けると、脱水による白穂や不稔粒の発生、倒伏による穂発芽等の被害が発生します。そのため、台風前には、稲に十分な水分補給を行うとともに地ぎわからの倒伏を軽減するために、台風の前にはできるだけ深水で管理しましょう。

大雨が予想される場合は事前に水路や排水路を点検し、圃場への浸水や冠水を防ぐとともに、台風通過後はできるだけ早く排水に努めてください。なお、稲の葉や穂に傷がつくと「いもち病」や「しらはがれ病」、冠水すると「黄化萎縮病」などが発生しやすいので注意が必要です。
*倒伏した稲や穂発芽した籾は別扱いしましょう。

環境こだわり農産物認証申請

特別栽培米は、収穫開始25日前までに環境こだわり米の認証申請書と生産記録などの提出が必要です。

麦作予定田の稲刈りは 乾田状態でいきましょう

- 雨上がりなど、湿田状態で稲の収穫作業を行った水田に麦を播くと、湿害を受けやすく、発芽や初期生育が悪くなります。
●稲収穫後、なるべく早く、圃場周囲に排水溝を設置しておきましょう。
●完熟堆肥や土力じまんを散布し、プラウで反転耕耘すると土壌の排水性がよくなり地力も向上するので良質麦の生産には、さらに効果的です。

●来年の麦跡大豆にも効果があるので、ぜひ、今年から実行してください。

農事組合法人 夢農場北方 (八日市西支店管内)

法人設立日 平成28年9月28日
 経営の品目 麦
 構成員数 31戸
(組合員数)
 法人の経営面積 小麦 12ha
(令和2年度)

経営の特色

集落の農家(土地持ち非農家を含む)全員が構成員となり、集落が一体となって転作に取り組み、現在は種子小麦を栽培している。

今後の経営方針

「集落の農地は集落で守る」を前提に全員参加型の営農体制構築を目指し、今後は集落で土地改良事業の計画が進んでおり、水稻をはじめ高収益野菜の栽培を含めた経営を実施していく予定である。



ザ!! 法人

ぐりーんきっず



体を動かすのーいすき!

- ◎名前の由来は何ですか?
 自律した人に。そしていつも前向きに、希望あふれる人生を送ってほしいという願いを込めました。
- ◎家族が増えて変わったことは?
 家族やご近所さんなど、人と話すことが増えました。
- ◎お子さんのチャームポイントは?
 愛嬌のあるタレ目と、ぶにぶにのほっぺにあるえくぼです。にっこり笑うととてもかわいく癒されます。
- ◎上手にできることは?
 体を動かすことが大好きで、ずりはいやハイハイ、つたい歩きを駆使して部屋中動き回っています。
- ◎どんなお子さんに育ってほしいですか?
 強くて優しい子に育ってほしいです。そして、人に好かれる人になってほしいです。

りっ き
上野律希くん 0才
 東近江市
 上野 寛明さんと夏歩さんのお子さん

大豆

干ばつ対策(うね間かん水)

大豆は、開花期以降には多量の水分を必要としますが、播種〜開花期頃までに湿潤な状態が続くと「たて根」の伸長が悪くなり、開花期以降に高温乾燥の状態になると干ばつの影響を受けやすくなります。

大豆を多収するには、梅雨期の徹底した排水対策やプラウ耕などによって圃場を乾田化し、根を発達させると、干ばつを軽減することができます。

麦跡大豆を栽培する場合には、**麦作前に弾丸暗渠やプラウによる反転耕耘をしておく**と効果的です。今秋に播種予定の**麦作圃場から始めてください。**

開花期から登熟期にかけて7日以上降雨がなく、大豆の葉が全体の半分以上裏返しになってきたら、うね間に水を流して、水分を補給してください。

ただし、日差しの強い昼間うね間に水がたまる根腐れなどの原因となるので、かん水はなるべく夜間に行い、うね間に水が通り行き渡ったら直ちに表面水を排除してください。

中耕培土は遅れないように!!

中耕培土の適期は大豆の本葉2〜3葉期と本葉7〜8葉期頃です。大豆の花が咲き始める頃までに2回実施してください。

い。土は、大豆の株元までしっかりと土を盛り上げてください。

中耕培土は、雑草対策や倒伏防止とともに、土壌の通気性を良くして根粒菌を活性化し、莢つきや大豆粒の充実肥大が良くなるという効果が期待できます。

中耕の時期が遅れると根が切れたりして、「青立ち」の発生や着莢が悪くなるなど逆効果になります。遅くとも**8月初旬には終わるようご注意ください。**

雑草防除

生育期茎葉処理剤には、広葉雑草対象の大豆バサグラン液剤やイネ科雑草対象のポルトフロアブルのように畑全体に散布できる選択性薬剤と、バスタ液剤のように畦間・株間のみに散布できる非選択性除草剤があります。いずれの除草剤も大きくなりすぎた雑草には効きが悪くなるため、散布適期を逃さないようにしましょう。詳しくは、2020年産大豆の栽培ガイドラインをご覧ください。

病害虫防除

大豆は、莢の肥大期に害虫の被害を受けると品質・収量ともに著しく悪くなります。こまめに圃場を巡回し、害虫の防除に努めましょう。

病害虫防除

		散布時期	適用	薬剤名	希釈倍数	散布量/10a	使用時期	使用回数
種子消毒		播種前	殺虫殺菌剤	クルーザー-MAXX		種子1kg当り原液8ml	塗沫処理	1回
粉剤散布	①	開花期	殺虫剤	トレボン粉剤DL		4kg	収穫14日前まで	2回以内
	②	若莢期	殺虫殺菌剤	スミチオンベルコート粉剤DL		3kg	開花期〜若莢期まで 但し収穫21日前まで	4回以内
	③	莢伸長期	殺虫殺菌剤					
	④	子実肥大期	殺虫剤	トレボン粉剤DL		4kg	収穫14日前まで	2回以内
液剤散布		ハスモンヨトウを発見したら	殺虫剤	ロムダン粉剤DL		4kg	収穫14日前まで	3回以内
	①	開花期	殺虫剤	スミチオン乳剤	1000倍	100~300ℓ	収穫21日前まで	4回以内
	②	若莢期	殺虫剤	スミチオン乳剤	1000倍	100~300ℓ	収穫21日前まで	4回以内
			殺菌剤	ベルコートフロアブル	1000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	4回以内
	③	莢伸長期	殺虫剤	スミチオン乳剤	1000倍	100~300ℓ	収穫21日前まで	4回以内
殺菌剤			ベルコートフロアブル	1000倍	100~300ℓ	収穫7日前まで	4回以内	
④	子実肥大期	殺虫剤	トレボン乳剤	1000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	2回以内	
	ハスモンヨトウを発見したら	殺虫剤	ロムダンフロアブル	2000倍	100~300ℓ	収穫14日前まで	3回以内	
無人へり散布	①	開花期	殺虫剤	トレボンエア-	8倍	800ml	収穫14日前まで	2回以内
	②	若莢期	殺虫剤	スミチオン乳剤	8倍	800ml	収穫21日前まで	4回以内
	③	莢伸長期	殺菌剤	ベルコートフロアブル	6倍	800ml	収穫7日前まで	4回以内
	④	子実肥大期	殺虫剤	トレボンエア-	8倍	800ml	収穫14日前まで	2回以内
	ハスモンヨトウを発見したら	殺虫剤	ロムダンエア-	16倍	800ml	収穫14日前まで	3回以内	

※トレボン粉剤DL、トレボン乳剤、トレボンエア-を使用される場合は剤形を問わず総使用回数は2回以内です。
 ※上記防除体系は「転作大豆(種実)」用です。「えだまめ」には適用できません。
 ※農薬を使用するときはラベルの記載事項をよく読み、適正に使用しましょう。
 ※農薬の散布作業を行うときは防除マスクや防除着を着用し、熱中症対策にも配慮するなど、作業者の安全対策にも十分注意してください。

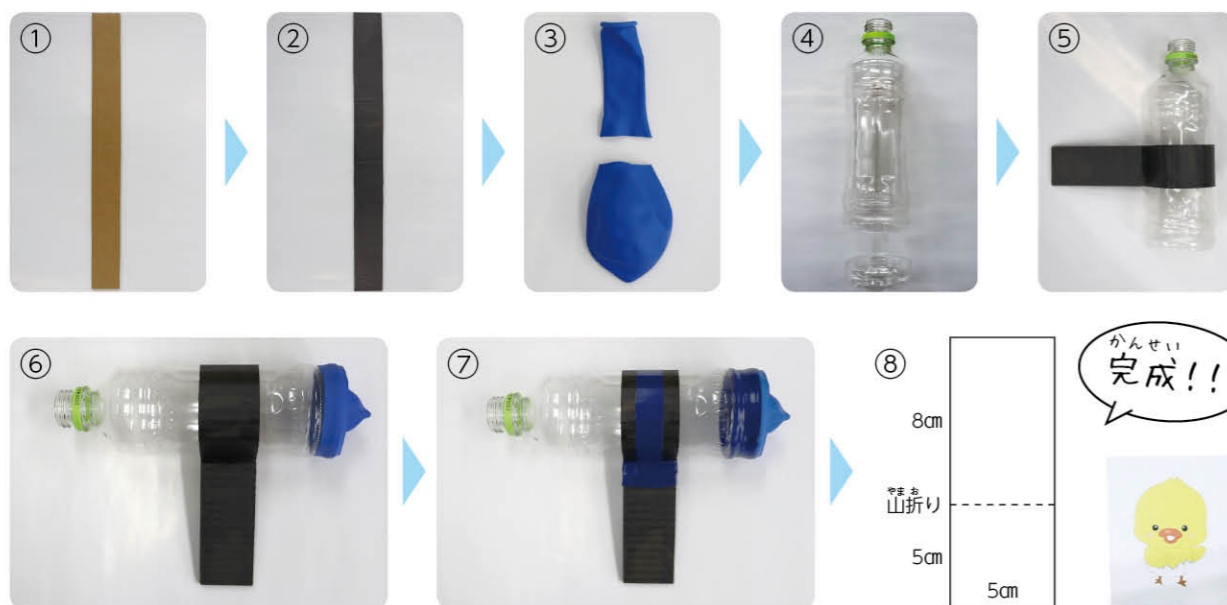


ペットボトル空気砲を作ろう!

夏休みにペットボトルを使った空気砲を作ってみよう! 500mlのペットボトルと段ボールがあれば誰でも簡単に作れるので、説明をよく読みながらチャレンジしてみてね! 完成したら、的をねらったり、警察ごっこをして遊んでみよう!

【作り方】

- ①段ボールを写真のサイズに切ります。(4cm×40cm)
- ②マジックで段ボールの片面に色を塗ります。 ③ハサミで風船を切ります。
- ④ペットボトルの底をカッターで切りはなします。
- ⑤段ボールに接着剤をぬってペットボトルに巻きつけます。接着剤が乾くまでしっかり押さえてください。
- ⑥ペットボトルの底に風船をかぶせます。 ⑦風船と持ち手をビニールテープで固定します。
- ⑧画用紙を図のような大きさに切って好きな絵を描いて的を作ります。



【空気砲の遊び方】

- ①風船をひっぱる。
- ②手をはなすと空気が飛び出すよ。



あそびで
遊んで
みよう!!

【用意するもの】

- 〈材料〉
- ・ペットボトル (500ml) …… 1本
 - ・段ボール (たて4cm×よこ40cm) …… 1枚
 - ・風船 …… 1つ
 - (ふくらます前の横の長さが6cmぐらいのもの)
 - ・画用紙

〈用具〉

- ・好きな色のマーカー (水性)
- ・好きな色のビニールテープ
- ・接着剤
- ・ハサミ
- ・カッターナイフ
- ・じょうぎ

※カッターナイフやハサミを使うときは、ケガをしないように気をつけてください。場合によっては、おうちの人に手伝ってもらってください。



きゅうりの佃煮

【材料】 (出来上がり量800g)

- ・きゅうり …… 1kg (約10本分)
- ・土しょうが …… 4片 (千切り)
- ・鷹の爪 …… 少々
- ・しょうゆ …… 50cc
- ・砂糖 …… 50g
- ・酢 …… 70cc
- ・みりん …… 15cc
- ・塩吹き昆布 …… 30g
- ・いりごま …… 少々
- ・塩 …… 適量



【作り方】

- ①きゅうりを2～3ミリにスライスし、塩をする(約3時間) 洗わずに水分を絞り取る。
- ②塩吹き昆布・いりごま以外の材料を混ぜフライパンで沸騰させ、絞ったきゅうりを入れる。
- ③水分がなくなるまで強火で混ぜる。
- ④水分がなくなれば火を止め、塩吹き昆布・いりごまを混ぜて自然に冷ます。

※冷蔵庫で保管すれば約3週間持ちます。

(冷凍保存も可能)

※林幾子女性部副部長のレシピです。

～「きゅうりの佃煮」感想～

きゅうりの食感もしっかり残っていて、ほどよい塩加減・しょうがの風味・鷹の爪の辛味が絶妙のバランスで白ご飯にピッタリ。暑い夏でもご飯がすすみます。きゅうりが全く食べられない職員も一口チャレンジしてみましたが、「これなら食べられる!」と大絶賛でした。毎年、きゅうりが沢山採れて困っておられる方、ぜひご家庭で作ってみてください。(寺内)

皆様からのご意見をどんどんお聞かせください。お待ちしております。
JAグリーン近江 女性部事務局 (JAグリーン近江 総務課)
TEL.0748-25-5127 FAX.0748-25-5111



ホームページでも
ご覧いただけます

クロスワードパズル

ぐりんぴーす オリジナル

1	2	3	4	5	6
7	8				E
9	10			11	
12	13		14		
15			16	17	
18	19		20	21	22
23			24	25	
26					

6月号の答え 「コロモガエ」

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
ツ	ユ	イ	リ	オ	カ	ラ																			
エ	コ	ツ	キ	モ	ム																				
ク	ラ	シ	ガ	タ	ツ																				
カ	ク	ル	イ	タ																					
オ	リ	ガ	ミ	ロ	レ	ツ																			
ガ	レ	キ	ト	ウ	キ																				
タ	キ	ウ	ス	サ	ユ																				
ツ	フ	エ	バ	イ	ウ																				

6月号の答えは「コロモガエ」でした。クロスワードは左記の通り。今回は177名の応募があり、175名の方が正解でした。抽選により次の20名の方が当選されました。(敬称略)

63 5270029
JAグリーン近江
「ぐりんぴーす」クイズ係

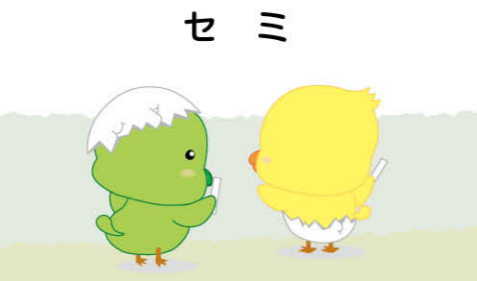
- クイズの答え
○郵便番号
○住所
○氏名
○年令
○電話番号
○おたより

応募方法
クイズの答えが解かった方はハガキに左記の要領に基づき、お便りをお書き添えの上、クイズ係まで送付下さい。正解者の中から抽選により、20名の方にJAグリーン近江オリジナル図書カードを、進呈致します。クイズの締め切りは8月20日(当日消印有効)です。当選者の発表は10月号に掲載致します。

JAグリーン近江オリジナル図書カード当選者(敬称略)

松浦 正己 田中 孝典 端 多美江 幸池美保子 青山 健道
成田 文平 長江美津子 三木 利子 今宿 万里 岡村 香
原 正雄 藤本 修 榎 久尾 込山しのぶ 岡村 とも
山路 法明 駒井 輝明 上田 光子 安積 充枝 高岡 美子

クイズ・プレゼントのご応募、おたよりの投稿に際しまして取得した個人情報はこのたびの景品プレゼントの抽選・発送以外には一切使用しません。また、承諾なく第三者に提供しません。いただいたご意見については今後の本誌の編集企画の参考以外の目的には使用しません。



ふれあい広場

今月もたくさんのおたよりありがとうございます。

おたよりの欄は、読者のページです。皆さんからのおたよりについては、そのまま掲載をさせていただくことがありますのでご了承をお願い致します。なお、お名前の掲載に支障のある方は、あらかじめペンネームを書き添えていただくか、もしくは匿名希望と明記下さい。皆さんからの楽しい話題やためになるお話、イラストなどもお待ち申し上げます。

●キヌサヤが好きなのでマヨポン炒めを作りたいと思います。黒あわび茸のかわりにエリンギではだめですか?
近江八幡市 井村明代さん
毎号の味録レシピを紹介して作ってくれている“きてか〜な”の姫野さんにお聞きしたところ、「どちらも食感のよいキノコですので代用OKですよー」ってことでした。美味しいキヌサヤとエリンギのマヨポン炒めが出来上がるのが楽しみです(熊)

●頭の体操として楽しみにしております。畑作りビギナーの私は、環境のサイクルを重視して、安心安全は自分の手だと思っています。自然に鍛えられています。これも幸せなことです。感謝しかありません。
近江八幡市 北野美智子さん

「安心安全は自分の手で」というポリシーを持っても、それを実行に移し継続するには並々ならぬ気力や体力がいることと思います。自然の身じろぎ一つで恩恵を受けることもあれば、逆に災難に見舞われたりするのが畑仕事の宿命ですね。自然や環境のサイクルと共存しつつ、活力を得ていらっしゃる美智子さんを心から尊敬します。お手製の野菜や果物、すごく美味しいんだろうな〜!!(ま)

●コロナで学校はお休み。小学3年生の孫、ママが仕事の日は教科書を持って我が家へ。クロスワードパズルで頭を鍛えているババア。お勉強にはついて行きますよ。今なら・・・
近江八幡市 浅尾征子さん
自粛期間中はおばあちゃんが先生だったのですね。学校に行けなかったのは残念だったと思いますが、おばあちゃんから勉強以外の事もたくさん学べたのではないのでしょうか。私もたま〜に、小学生の問題を目にするがありますが、懐かしいと思って解こうとすると、予想外の難しさにビックリさせられることがあります。習ったはずなのに・・・。(た)

●いつも「グリンピース」拝見しています。今回「立体マスク」の作り方がわかりやすく掲載されていて、家庭でも挑戦して作っていました。ありがとうございます!
近江八幡市 保智伸一さん
まだまだマスクが欠かせない日常が続きますね。最近では暑い夏を乗り切れる涼しい生地のマスクが欲しいと思う今日この頃。また私も挑戦します!(い)

●6月から学校がやっと始まって暑くなってきたけれど登校できるのがとてもうれしいです。友だちといっしょになわとびするのが楽しいです。
日野町 辻空希さん

かわいいイラストもありがとう。お友達との楽しい学校生活をおくって、いっぱい思い出を作ってくださいね(熊)



現在は少しマスクも手に入りかけましたが、マスクが品切れ状態の次は、マスクの材料の布、ゴム。ようやく手に入り、今は手拭いで20枚ほど作りました。人にもあげましたがコレクションみたいになりました。
竜王町 匿名希望さん
マスク品切れ。一時は大変困りましたね。私も手に入らず使い捨てマスクを消毒して2、3回使っていました。薬局、コンビニ・・・マスク、マスクと探していましたが、まさか手作りマスクが目ざされとは思いませんでした。コロナ再来に備え、これからもオシャレな手作りマスクを作っていたきたいと思います。(S)



しゅん み りよく つう しん
旬の味緑通信

写真・文・調理
姫野 昭祐
野菜ソムリエ Pro.
特産課ファーマーズマーケットきてか〜な

ホームページからも
ご覧いただけます!
バックナンバーも
公開中!!

美味しい時期：5～8月
管内産地：東近江 ほか
分類：シソ科シソ属
ここで買えます!：きてか〜な ほか



今月の野菜
大葉

特徴

大葉はすがすがしい香りが特徴で日本の代表的なハーブです。刺身のツマをはじめ、様々な料理に風味をプラスするような使われ方をしています。



栄養成分

βカロテン、ビタミンB群やビタミンEやKなども他の野菜に比べ多く含んでいます。鉄分をはじめ、カルシウムなどのミネラルも豊富とされます。

よいもの見分け方

しなびていたり、葉に黒い斑点が無い物を選びましょう。

長持ちさせるには

大葉は傷みやすく、水気にあたると黒く変色します。保存する場合はコップなどに少しだけ水を張り、大葉の軸の部分だけが水に浸る状態にし、それを袋などに入れて立てたまま野菜庫に入れておきましょう。

刻んで冷凍する方法もありますが、香り、食感は落ちます。

食べ方

生のまま刻んで薬味にするのが定番です。そのまま醤油漬けや刻んで味噌にあえても合います。巻いて焼き物や揚げ物や蒸し物にも使えます。



味緑のレシピ

カリッと厚揚げの大葉みそチーズ焼き

材料

- 厚揚げ…1パック
- 大葉…5枚
- とろけるチーズ…適量
- ★みそ…小さじ2
- ★みりん…小さじ2

手順

- 厚揚げを一口大に切ります。大葉はみじん切りにします。
- 刻んだ大葉と★の材料をよく混ぜます。
- トースターや魚焼きグリルに厚揚げを入れ、両面焼き色が付くまで焼きます。
- 焼いている間に、チーズを厚揚げにのるサイズに切ります。
- ②をぬり、チーズを上のにのせ、溶けるまで焼いたらできあがり。



□当たらをよくしたい場合は、①の前に油抜きをしてください(キッチンペーパーを厚揚げにくるみ、レンジ500W30秒して取り出し、ペーパーを押さえて油を出します)。

